

平成27年度

社会福祉法人恵正福社会
とうかいどう保育園

事業報告

平成27年度総括

園長の姿勢

社会福祉法人恵正福祉会とうかいどう保育園園長としての基本姿勢を守り、運営の透明性、公正性、職員のスキルアップに努めました。

事業について

都指導監査部検査結果や第三者評価結果等を参考に、運営の透明性、公正を図るよう注力しました。また昨年度に引続いて地域との共生を図るよう活発な活動を行いました。

保育において

子どもの最善の利益と福祉の増進を図り、保護者の育児と仕事の両立と家庭を支援し安心して預けられる質の高い保育を目標にしました。

- ・第三者評価では昨年に比べ、「現場の意見が反映され保育の質が向上し働き易くなった」との評価がなされました。
- ・保護者の就労支援について、保護者の就労時間に合わせた保育と、突然の残業については柔軟に対応し、また補食、夕食の対応も行い保護者からは大変喜ばれております。
- ・保護者が自分の子どもと一緒に保育体験をしてもらいました。
(体験者 33 名) 保育園では感謝状を贈呈し保育園内に掲示しました。

職員の資質向上においては

職員研修を多く取入れ、スキルアップを図れるように時間を補償するように取り組みました。研修結果は研修状況報告を参照願います。

研修の効果として自分の考えで意見を述べ行動を決定するようになりました。

保育士の研修

全職員（保育士+非常勤）が研修に2回以上参加し、各自のレベルアップにつながった。

保育の多様性

- ・東関東地震から4年、東北の復興を願って品川区の芸術協会主催（後援品川区）の「行燈フェア」に2回目として参加し、保護者の方々も地域の方々も子どもの作品に見入っていました。
- ・地域を越えて他園の保育園児と一緒に「さつま芋掘り」に参加。大きなさつま芋にびっくり全員大喜びし楽しい一日でした。
- ・福栄会（老人福祉施設）の行事に参加しスイカ割りと秋の収穫祭でサンマの塩焼き、豚汁をご馳走になり子ども達は大喜びでした。

健康管理

- ・インフルエンザが保育園で流行し、大人5名、子ども40名以上のため保健所に報告し、うがい、手洗い、室内外の消毒を徹底しました。
- ・アレルギー児の対応では、厨房に写真で誰が何を食べられないかを掲示し、配食のお盆にも写真のカードを入れ間違いのないようにした。
- ・食事の味付けが濃い時があり、分量と人数をきちんと把握し、計量管理により味付けの均一を徹底することにしました。
- ・1月27日職員の過失により迷子が発生し、保護者に多大なご迷惑をおかけしました。これを契機に保育園内の体制を見直し全職員一人ひとりの保育業務の見直しをしました。（5ヶ所の公園マップを作成、散歩保育の見直し）

人材状況

27年度職員採用、退職状況

新規採用保育士他 3名

退職保育士 3名

地域貢献実績

中学生職場体験 4名

ボランティア 2名

見学受入れ（保育学生） 2名

見学受入れ（地域住民） 114名

地域子育て支援

- ・出前保育園の実施…海上公園の広場、雨天の場合は福栄会のロビーを使用。
- ・利用者満足度向上に向け、利用者の状況に応じたサービス提供をして一時保育、カンガルー広場の利用者増加につながった。

サービスの内容：子育て相談、体操教室、リトミック、英語教室、音楽とリズム教室

- ・カンガルー広場の利用者数

(実施内容：体操、出前保育、英語、ダンス、リトミック、育児相談等を実施)

平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月まで 延べ利用人数 6,070 名でした。

- ・保育園給食体験者 11 名。 一時保育利用者延べ 574 名

メッセージボックスによる苦情解決

ご意見があり (3 件)、意見の内容と保育園の見解を玄関掲示板に公開しました。お迎えの時には保護者と簡単なお話をするように心がけています。

避難訓練

月間の計画に従い、火事、地震、の避難訓練を行いました。トピックスとして品川区にお願いして、起震車体験と煙の避難訓練を職員と子ども達が体験しました。場所は六行会の駐車場を借りておこないました。

消火訓練は、水の入った消火器と三角バケツを使用し「火事だ、火を消せ」と大きな声で子ども達と一緒に掛け声をかけ実施した。

設備管理

・設備の定期点検については年間の計画を立て、スケジュール通り実行したが、冷暖房の空調設備のトラブルが多発した。設備管理の京急不動産会社に空調設備の更新計画を申し入れ、やっと 6 月に全台新品交換が実現した。1F の空調は契約で保育園管理となっているので 27 年 5 月に約 170 万円で更新した。

・主な点検箇所は、エレベータ、電気保安、消防設備、害虫駆除、窓ガラス清掃、グリーストラップ清掃、手洗い消毒液定期補充、空調フィルター清掃、受水槽の清掃、排水管の高圧洗浄等である。

災害対策

非常時のミルク、食料、飲料水は3日分を目途に備蓄しています。
27年度の5月から順次見直しをし、必要なものは補充しています。

職員募集

職員募集は最も頭の痛いところであるが、保育士養成学校、ハローワーク
各社会福祉協会、職員の縁故関係等あらゆる手立てをつくしているが、採用
は困難を極めている。根本的には保育士の待遇改善を進めることが必要と考
える。(給料、勤務体制、福利厚生等の改善が必要である)